

研究構想シート	学校名	大田市立仁摩小学校
	氏名	松村 弥紀
A 研究主題 <span style="float: right;">自分の思いや考えを表現し、認め合うにまっ子の育成 ～ICT活用の実践を通して～</span>		
B 研究の目的 <span style="float: right;">自分の思いや考えを表現し、認め合う力をのばすため</span>		
C 子どもの実態 ○授業へ向かう姿勢はできてきている。 ○自分の思いはある。 ○発表に対して、体を向けたり、「いいです」など、反応することができる。 ○決まった型や例示があると書くこと、話すことができる。 ・全国学力調査の結果は、全国平均よりも低く、大田市内の平均よりも低い。 ・思いはあるが、文章で伝えることが苦手。 ・対話が苦手。 ・自信がない。 ・意図が読み取れていない。 ・一部の児童は自己決定をせずに、周りに任せている児童もいる。 ・反対意見に対しては、共感・認める反応を返すこと苦手で、対立してしまうこともある。	E 手立て・内容（研究仮説） 【仮説】ICTを活用した授業づくりを行えば、自分の思いや考えを表現し、認め合うにまっ子の育成につながるだろう 【内容】教材・教具や学習ツールの一つとしてICTを積極的に活用し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善につなげる 例えば ・導入場面でICTを使って興味を持たせる ・自分の考えを記入することができるような指導の工夫 ・自分の考えが思いつかない児童でも、他の人の意見を見て、考えることができるようにICTを効果的に使う（他者参照ができるようにする） ・書くことが苦手な児童は、学習の振り返りをタブレットで行う ・例示を示して、できるようになったことや分かったことを書く など	D めざす子どもの姿 ・自分の考えをもつ（図、言葉、絵など） ・自信をもって自分の考えを表現する、伝える。 ・自分の意見と友だちの意見を比べてきくことができる ・分からないと言うことができる
	F 検証方法 ・アンケート（例：単元の前後で、児童にICTを使って授業や活動を行ったことはどうだったかを訊ねる。教師にICTを使ったことはどうだったかを訊ねる。など） ・各学期終わりの振り返りなどの表現の変化（量・質）	
	G 研究計画 ・授業研究（6月下旬～1月下旬の中で、一人1授業を行う） ・カリキュラムの検討（単元配当表にICTを使った単元の記入、情報活用体系表を意識した指導） ・職員会の中でミニ研修（おすすめのアプリ、ICTを使った実践紹介など） ・外部の研修への参加（県メディア研の参加、市メディア部会主催の研修など）	